

## 東北ブロック医師臨床研修の充実強化に関する懇話会報告書の概要について

### 1 経緯

本懇話会は、東北ブロック内の医療の質の向上のため、臨床研修病院の充実強化策等について検討することを目的に、当局局長の私的懇談会として平成19年1月に設置した。さらに、地域において研修医を育てる体制の構築について具体的に検討することを目的に、懇話会の下部組織として実務委員会を設置した。

懇話会4回、実務委員会3回の会議を経て、平成20年3月に報告書がとりまとめられた。

### 2 検討事項

- (1) 臨床研修病院の質の向上のための方策について
- (2) 地域において研修医を育てる体制（キャリアパス）の構築について
- (3) その他

### 3 開催日程

#### (1) 懇話会

第1回	平成19年1月30日
第2回	3月13日
第3回	7月3日
第4回	平成20年3月4日

#### (2) 実務委員会

第1回	平成19年5月8日
第2回	平成19年6月5日
第3回	平成19年9月11日

### 4 報告書の内容

#### ○ 研修医のキャリアパスについて

- ・医療の現場において専門医や指導医として中核的な役割を担っていくために重要な研鑽の時期である医師免許取得後7年程度のキャリアパスについて検討した。

#### ○ いわゆる「総合医」の養成について

- ・国民、患者からも総合的な診療に対応できる医師が求められており、「総合医」としてのアイデンティティの確立、認知度を高めるといった環境整備が必要である。

- 臨床研修と後期研修の効果的な実施のための方策について
  - ・ 指導医講習会の受講や大学等からの外部講師の招聘などにより、指導体制の充実に積極的に取り組んでいく必要がある。
  - ・ 後期研修では専門医資格取得に必要な症例数や到達目標を明示することが望まれる。
  - ・ 複数の施設の得意分野をローテートする体制が構築できれば、より質の高い研修が期待できる。地域において、卒後の臨床研修から後期研修まで継続的に行える研修プログラムを提示することは重要な取組である。プログラム責任者等の実務者によるネットワークを形成し、後期研修を含めた連携に発展させていくことが望まれる。
  
- 大学病院との連携について
  - ・ 大学医学部及び附属病院は、医学生の教育のみならず、医師免許取得後の教育・研修においても重要な役割を担っている。
  - ・ 大学病院は、地域の医療機関等と連携し、医師養成システムの構築に中核的な役割を果たすことが求められる。
  
- 女性医師の就労環境に配慮した体制
  - ・ 医師確保の観点からも女性医師が育児期間中においても継続して就労できる環境整備が必要である。公的な支援も活用し、女性医師の家庭生活と診療の両立や診療業務への復帰支援など、女性医師にとって働きやすい職場環境の整備を進めていく必要がある。
  
- 後期研修を修了した医師の進路について
  - ・ 後期研修修了後も医師が地域に定着するかどうかは、当該地域の医療提供体制にも影響を与える。
  - ・ 東北ブロックの各大学が魅力のある存在になることが必要不可欠である。
  - ・ 地域における医療機関の機能や連携体制、「総合医」と「専門医」の役割分担を明確にし、地域住民に対する情報提供を推進する必要がある。
  
- 今後の課題
  - ・ へき地等における医療の確保も含め、臨床研修、後期研修が効果的に実施できる連携体制を構築し、キャリアパスとして提示することにより、東北ブロック全体の医療の質の向上を図っていく必要がある。
  
- キャリアパス作成の参考となる研修プログラムの事例